

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第20号

## ふれあいかわら版

## 環境改善施設の重要性を学ぶ

去る2月25日(金)、生活環境部会(部長大矢良雄)が、新潟市の協力を得て計画し、私どもの生活に直結する西川浄化センター、新潟市新田清掃センター、新潟市衛生環境研究所の3施設を見学しました。

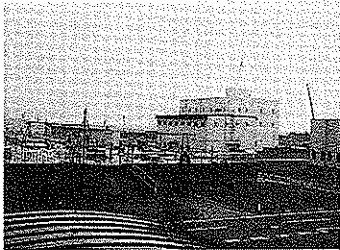
当日は、新潟市の「動く市政教室」に参加するかたちで、板井、木場、黒鳥、北場の各地区から計40人が参加しました。

「動く市政教室」は、市政バスを利用して新潟市の施設や事業所を見学し、市政に対する理解や認識を深めることを目的とします。

以下に、見学施設の概要をお知らせいたします。

## &lt;西川浄化センター&gt;

正式な名称は、西川流域下水道西川浄化センターで、黒埼地区を含む西区の一部、西蒲区、南区の一部と燕市の一部を対象



とした流域下水道で、家庭の生活排水などを下水管を通して終末処理場で、きれいな水に処理して河川に戻すという社会基盤施設です。

処理区域面積は、全体計画で6203㍍、処理区域人口17万4千人、処理場敷地面積14.5㍍という広大さに参加者全員が驚嘆の声をあげていました。

また、同センターは、比較的身近な場所、笠木小学校近くの新川沿えに位置していることすら知る人もなく、認識を新たにしておりました。

下水道処理区域内のポンプ場は、全部で18箇

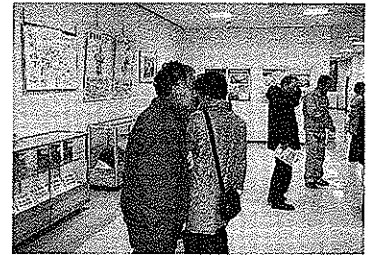


所、身近なところでは板井ポンプ場、小新ポンプ場、新通ポンプ場となっております。

下水道処理の「流入下水(最初沈殿池)⇒反応タンク⇒最終沈殿池⇒放流水」の実地を視察するなど有意義な視察となりました。

## &lt;新田清掃センター&gt;

新川を挟んだ西川浄化センターの反対側が新田清掃センターです。視察は焼却施設と破碎施設の2箇所です。



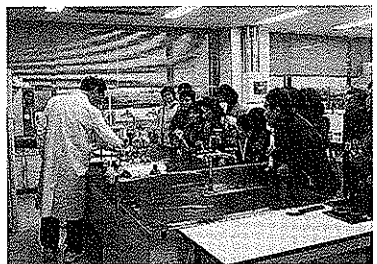
焼却施設では、「ごみ投入扉から⇒ごみピットへ投入⇒ごみクレーンで攪拌し⇒ごみ投入ホップ⇒給じん機を通して⇒焼却炉へ」という一連の流れを見学しました。

なお、焼却炉の余熱(タービン発電機)で施設内の電力を賄ったり、給湯、冷暖房、融雪や温浴施設の場内利用の実態、さらには焼却炉の故障に繋がる不心得者が出した隠れたごみ(車などの部品の塊など)の実物も見ることができました。

破碎施設では、各種の破碎機、選別機の工程を経て「有害ごみ」「不燃物(鉄、アルミ、プラスチック抽出)」「可燃物(焼却施設へ搬出)」を選別する仕組みを見学しました。

## &lt;新潟市衛生環境研究所&gt;

同研究所は、西区小新の西川沿えに位置しております。市民が快適で健康的な生活を送



れるために、衛生および環境の分野で必要とされる検査や分析を行っている研究機関です。

研究所内の食品検査、微生物検査、水質検査、大気検査の各ゾーン検査室の視察と説明を受けました。

午前9時30分に出発して、午後3時に出発地の黒崎南小学校に帰着するまでの約5時30分、この間にお互いが顔なじみとなり、和やかな雰囲気の中で意義ある見学をすることができました。

## 『黒崎お宝アート』完成

教育文化部長 江端広徳

この春に黒鳥小学校跡地に新しい黒崎南部公民館が完成します。そこで、地域の方々とも達で記念となるアートを創って飾る事業を計画し、このほど沢山の人の協力で作品を制作することができました。「メッチャ楽しい!!」行事となりました。



加藤雅之校長からご紹介いただいた新潟大学丹治先生の指導の下、大学生の皆さんや、まめっこのスタッフ、子ども達、地域の方々、公民館、市建設担当など沢山の人が黒崎南小学校を中心に結びつき、ひとつのアートを完成することができました。

まさにこれが地域のお宝アートではないでしょうか。そしてこれほど色々な分野の人達と共同で、ひとつの事業を成し遂げたことは初めてであり、そこに加藤雅之校長の役割が大変大きく、全体を取りまとめていただき今回の完成に結びつきました。

創ったアートは、参加者から布を染めてもらい縫い合わせて大きな幕にして枠に入れた物です。染め物は、なかなか思ったとおりに色が出せないことが、かえって楽しさにつながったよう



うです。枚数を重ねる毎にいろんな模様ことができました。

一枚でもきれいな模様ですが、まとまった時のスケールはすごいです。皆さんの傑作120枚の集合です。作品は、新しい黒崎南部公民館に飾られますので、公民館開館の際には是非ともお宝アートの傑作を皆さん見に来て下さい。

そして今回の事業にあたり、ご協力いただいた皆さんに紙面をお借りしてお礼申し上げます。「ありがとうございました。大変楽しかったです。」次回もいろいろと計画しますので皆さん参加して下さいね!

(次号は、黒崎南部公民館特集号を刊行します。)

## 生活安全講習会を開催

去る3月6日(日)黒崎南小学校談話室にて、生活環境部会では犯罪のない安心・安全なまちづくりを目指した活動の一環として生活安全講習会を開催しました。

当日は肌寒い曇り空でしたが、各地区から46人の方が集まり盛会に開くことができました。

講師に新潟市防犯指導員の窪田清志氏を招き、平成22年の区別刑法犯罪件数や窃盗犯罪の手口、悪質業者の訪問販売被害に、おれおれ詐欺の手口など、最近の様々な犯罪事例と被害防止対策は、個々が常日頃から安心・安全に気をつければ防げる等の話を聞くとともに悪質な訪問販売や振込み詐欺事件を映画化したDVDを見て「おれおれ詐欺」「還付金詐欺」「高齢者や独居老人に対する悪質な訪問販売」の怖さと、もしも被害にあった場合は警察や県消費生活センターに相談することにより被害金額が取り戻せた事例などを説明していただき大変参考になりました。

最近では、詐欺集団がレンタカーで都会から田舎を標的にやってきて、警察署の名や銀行の名などを語って近づいてくることも多々あるとのこと。怪しいと思ったら直ぐに警察署に連絡することが被害防止に役立つことなどを聞き、認識を新たにされた有意義な講習会でした。

